

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度(～)
<b>避難指示解除政府目標(H29.3)</b>					
・ まちの再生 (各市町村復興拠点の整備、居住環境・医療福祉環境・教育環境・交通体系・道路等インフラ等の整備、伝統文化)					
・ 産業・生業の再生 (農林水産業、商工業の再開・新規就創業)					
・ 広域的連携の再構築 (広域インフラの整備、JR常磐線再開、地域公共交通の確保、広域的医療体制の確保、観光・教育旅行)					
・ Jヴィレッジの再開 (㉑一部再開、㉒全面再開)					
・ 復興祈念公園					

## 福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想

・ 放射性物質分析・研究施設(大熊町) (㉑着手、㉒未運用開始)	
・ 廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟(富岡町) (㉑着手、㉒～運用開始)	
・ モックアップ試験施設「檜葉遠隔技術開発センター」(屋内ロボット)(㉑～一部開所)	
・ 浜通りロボット実証区域(㉑～)	ロボット五輪(㉑)
・ ロボット・テストフィールド(屋外ロボット、㉒以降事業化、㉓一定の実現)	
・ ロボットに関する産学官共同研究室(㉒以降事業化、㉓一定の実現)	
・ ロボット関連産業の集積(㉓を一つの目標として)	
・ ハイテクプラザ浜通り分所の設置	
・ 産学官共同研究室(ロボット以外、㉑以降事業化)	
・ 技術者研修拠点(㉑以降事業化)	
・ 大学教育拠点(㉑以降事業化)	
・ 情報発信拠点(アーカイブ施設・㉒以降基本設計、㉑以降着工、㉓一定の実現)	
・ 小高統合高校(㉒～産業革新科設置、㉑～南相馬市小高区で再開予定)	
・ スマート・エコパーク(㉑～研究会、㉒以降事業化、㉓一定の実現)	
・ 環境・リサイクル関連産業の集積(㉓を一つの目標として)	
・ エネ①避難地域・再生可能エネルギー復興支援プロジェクト(㉑スキーム検討、㉒以降導入・復興支援)	
・ エネ②風力発電拠点形成プロジェクト(陸上…㉑以降風況調査・事業者公募・アセス、㉑以降発電所建設 洋上…㉑～実証研究)	
・ エネ③高効率石炭火力発電(IGCC)プロジェクト(～㉒環境アセス、㉑以降発電所建設(広野、勿来))	
・ エネ④天然ガス(LNG)火力発電プロジェクト(～㉑環境アセス、㉑以降発電所建設)	
・ エネ⑤天然ガス(LNG)の地域利用促進プロジェクト(㉑以降事業着手、導入拡大)	
・ エネ⑥復興まちづくりのためのスマートシティ形成プロジェクト(㉑可能性調査、㉑以降モデル事業の実施、導入拡大)	
・ エネ⑦水素によるエネルギー貯蔵・効率的利用プロジェクト(㉑可能性調査、㉑以降実証事業の実施)	
・ エネ⑧バイオマスプロジェクト(メタン発酵…～㉑モデル事業、㉑以降導入・普及 藻類…～㉑研究開発、㉑以降事業化)	
・ エネ⑨小水力発電導入拡大プロジェクト(㉑以降導入拡大)	
・ エネ⑩浜通りのポテンシャルを生かした産業の集積	
・ 農①水稲超省力・大規模生産プロジェクト(㉑以降開発・実証、㉑以降導入・普及)	
・ 農②畑作物大規模生産プロジェクト(㉑以降開発・実証、㉑以降導入・普及)	
・ 農③環境制御型施設園芸構築プロジェクト(㉑以降施設整備)	
・ 農④フラワー・コースト創造プロジェクト(㉑以降開発・実証、㉑以降施設整備)	
・ 農⑤阿武隈高地畜産業クラスタープロジェクト(ICT個体管理…㉑以降開発・実証 モデル農場整備…㉑以降施設整備)	
・ 農⑥県産材の新たな需要創出プロジェクト(林業用木材…㉑以降開発・実証、㉑以降導入・普及 CLT…㉑以降施設整備 木質バイオマス…㉑以降施設整備)	
・ 農⑦水産研究拠点整備プロジェクト(㉑以降施設整備、㉑以降試験・研究)	
・ 農⑧作業支援プロジェクト(㉑以降研究・開発、㉑以降導入・普及)	

## 構想関連として対応が求められる課題

・ モックアップ施設、廃炉国際共同研究センター等の整備に合わせた生活環境の確保
・ ロボットテストフィールド等整備に合わせた生活環境の確保
・ ロボット五輪向け宿泊施設確保、コンベンションの確保
・ 産学連携拠点の整備に合わせた生活環境の確保
・ 関連企業の操業・進出、研究者の居住・滞在に対応した生活環境、インフラ等の整備 営農再開、営農人材の確保
・ 地元企業等当該地域で操業する企業の技術力向上、産学が求める技術力やコミュニケーション力を持つ人材の育成